

防災訓練の結果の概要【要素訓練】（案）

1. 訓練の目的

本訓練は、「福島第二原子力発電所 原子力事業者防災業務計画 第 2 章 第 7 節」に基づき実施する要素訓練であり、手順書の適応性や人員・資機材確認等の検証を行い、手順の習熟及び改善を図ることを目的とする。

2. 実施日及び対象施設

(1) 実施日

- a. 2020 年 1 月 25 日（土）～2020 年 9 月 11 日（金）（詳細は添付資料 1 参照）
（モニタリング訓練，アクシデントマネジメント訓練，電源機能等喪失時訓練）
- b. 2020 年 11 月 18 日（水）
（遠隔操作資機材（ロボット）操作訓練）

(2) 対象施設

福島第二原子力発電所

3. 実施体制，評価体制及び参加人数

(1) 実施体制

訓練ごとに実施責任者を設け，実施担当者が訓練を行った。
詳細は「添付資料 1」のとおり。

(2) 評価体制

計画通り訓練が実施されていることを実施責任者が評価した。

(3) 参加人数

「添付資料 1」のとおり。

4. 防災訓練のために想定した原子力災害の概要

(1) モニタリング訓練

放射性物質の放出により敷地内の放射線または空気中の放射能濃度が上昇した状態を想定した。

(2) アクシデントマネジメント訓練

全交流電源喪失により使用済燃料プールの冷却機能が全て喪失し，原子力災害対策特別措置法第 15 条事象に至る事象を想定した。

(3) 電源機能等喪失時訓練

全交流電源喪失及び使用済燃料プール除熱機能喪失の状態を想定した。

(4) 遠隔操作資機材操作訓練

原災法第 10 条事象が発生し，原子力緊急事態支援組織の遠隔操作資機材が必要となることを想定した。

5. 防災訓練の項目

要素訓練

6. 防災訓練の内容

- (1) モニタリング訓練
- (2) アクシデントマネジメント訓練
- (3) 電源機能等喪失時訓練
- (4) 遠隔操作資機材操作訓練

7. 訓練結果の概要

各要素訓練の結果の概要は「添付資料 1」のとおり。

訓練にあたり，本設機器へ影響が生じる手順は模擬とし，机上による手順の確認を実施した。

8. 訓練の評価

各要素訓練の評価結果は，「添付資料 1」のとおり。

9. 今後の原子力災害対策に向けた改善点

各要素訓練で抽出された改善点及び今後に向けた改善点は，「添付資料 1」のとおり。

以 上

〈添付資料〉

1：要素訓練の概要

要素訓練の概要

1. モニタリング訓練（2020年1月24日～2020年9月11日の期間で11回実施，参加人数：延べ39名）

概要	実施体制 ①実施責任者，②実施担当者	評価結果	当該期間中の改善点	今後の原子力災害対策に向けた改善点
モニタリング訓練				
放射線測定車による測定点への移動，放射線測定器操作の実動訓練を実施した。 サンプリングの実動訓練を実施した。 放出放射エネルギーの評価の机上訓練を実施した。	① 保安班長 ② 保安班員	良	特になし	・要素訓練および総合訓練を通じ改善事項を確認し対応策等を手順書へ反映する。

2. アクシデントマネジメント訓練（訓練実施回数：5回実施2019年（1/30，2/27，6/24，7/17（2回））参加人数：延べ77名）

概要	実施体制 ①実施責任者，②実施担当者	評価結果	当該期間中の改善点	今後の原子力災害対策に向けた改善点
アクシデントマネジメント訓練				
電源機能等喪失時における事故拡大防止，燃料の崩壊熱評価等の机上訓練を実施した。	① 計画班長 ② 計画班員	良	特になし	今後も継続的に訓練を行い，能力の向上を図る。

要素訓練の概要

3. 電源機能等喪失時訓練（2020年1月24日～2020年9月11日の期間で合計212回実施，参加人数：延べ449名）

概要	実施体制 ①実施責任者 ②実施担当者	訓練実施 回数（人数）	評価結果	当該期間中の改善点	今後の原子力災害対策に 向けた改善点
緊急時の電源確保に係る訓練 ----- 電源車及び大容量電源装置等による電源確保の手順の実動訓練や机上訓練等を実施した。	① 復旧班長 保安班長 ② 復旧班員 保安班員	26回 (150人)	良	特になし	今後も継続的に訓練を行い，能力の向上を図る。
緊急時の最終的な除熱機能の確保に係る訓練 ----- 消防車による原子炉等への代替注水の実動訓練，原子炉等への代替注水ライン構成等の机上訓練等を実施した。	① 復旧班長 発電班長 当直長 ② 復旧班員， 発電班員	30回 (143人)	良	特になし	今後も継続的に訓練を行い，能力の向上を図る。
シビアアクシデント対策に係る訓練 ----- アクセスルート確保のためホイールローダ等を用いたがれき撤去の実動訓練を実施した。	① 復旧班長 ② 復旧班員	156回 (156人)	良	特になし	今後も継続的に訓練を行い，能力の向上を図る。

要素訓練の概要

3. 遠隔操作資機材（ロボット）操作訓練（訓練実施回数：1回実施（2020年11月18日），参加人数：4名）

概要	実施体制 ①実施責任者 ②実施担当者	訓練実施回数 (人数)	評価結果	当該期間中の改善点	今後の原子力災害対策に 向けた改善点
原子力災害発生時における高線量下の現場を想定し，障害物のある訓練コースを昇降・走行する訓練を実施した。	① 原子力防災 GM ② 保安班員 復旧班員	1回 (4名)	良	特になし。	要素訓練を通じて操作スキルの維持・向上を図る。